

# 稗原小学校

認め合い、合意形成できる人間関係の育成を目指して

## 学校教育目標

「よく遊び よく学ぶ子」  
 「認め合い 助け合う子」  
 「粘り強く 挑戦する子」

## 学校経営方針

「確かな学力を育む教育活動（知）」  
 「豊かな心を育む教育活動（徳）」  
 「健やかな体を育む教育活動（体）」  
 「保護者・地域とともに連携協力する教育活動」  
 「安全・安心、快適な教育活動と学校づくり」



- 明るくさわやかな挨拶、穏やかで優しい言葉遣いを心がけるなど心の通う取組みを充実する。
- 褒めて伸ばす指導に心がけ、自尊感情や自己有用感を高める。
- また、「かわさき共生\*共育プログラム」を効果的に活用する。
- 特別活動の充実を図ることを「キャリア在り方生き方教育」の柱に位置づけ、「自分たちの生活を自分たちでつくる」「仲間とともに歩む」力を育てる。

共生\*共育プログラムの取組みと特別活動の取組みを車の両輪として、子どもたちの言語的解決スキル（言葉で課題解決する力）を高めていく。



かわさき共生\*共育  
プログラム研究協力校

稗原っ子の  
笑顔  
特別活動研究推進校  
「学級会の取組」  
「挨拶運動の取組」



1. 年間6時間の共生\*共育プログラムの実施
2. 第1回効果測定実施（5月）
3. 教職員研修会実施（8月）
  - ・共生\*共育プログラム実習
  - ・効果測定見取り実習
  - ・Q-U概論説明
4. 効果測定見取りを生かした学年・学級経営実施
5. Q-U実施（11月）
6. 第2回効果測定実施（12月）
7. Q-U・第2回効果測定を生かした学年・学級経営（学級締め・引継ぎに向けて）実施
8. 取組の効果検証・研究協力校報告書提出
9. 1年間の振り返りと次年度に向けて



【授業研究】 研究テーマ  
 「自分のよさを生かし、一人一人が輝く特別活動」  
 ～伝え合い、合意形成をめざす学級活動～



【たてわり班による挨拶運動】



【結果】第1回と第2回効果測定の、「言語的解決スキル」数値の比較から取組みの効果を検証した。  
 第1回…49.2 第2回…50.3 差異…1.1 よって、取組の効果があったことが検証された。  
 【考察】特別活動と共生\*共育の連動により児童が言葉で課題を解決する力を育てることができた。